

埼玉県における 食品ロス削減の取組について

埼玉県 環境部 資源循環推進課

平成25年10月23日(水)
食品リサイクル法マルチステークホルダー会議

埼玉県のマスコット
「コバトン」



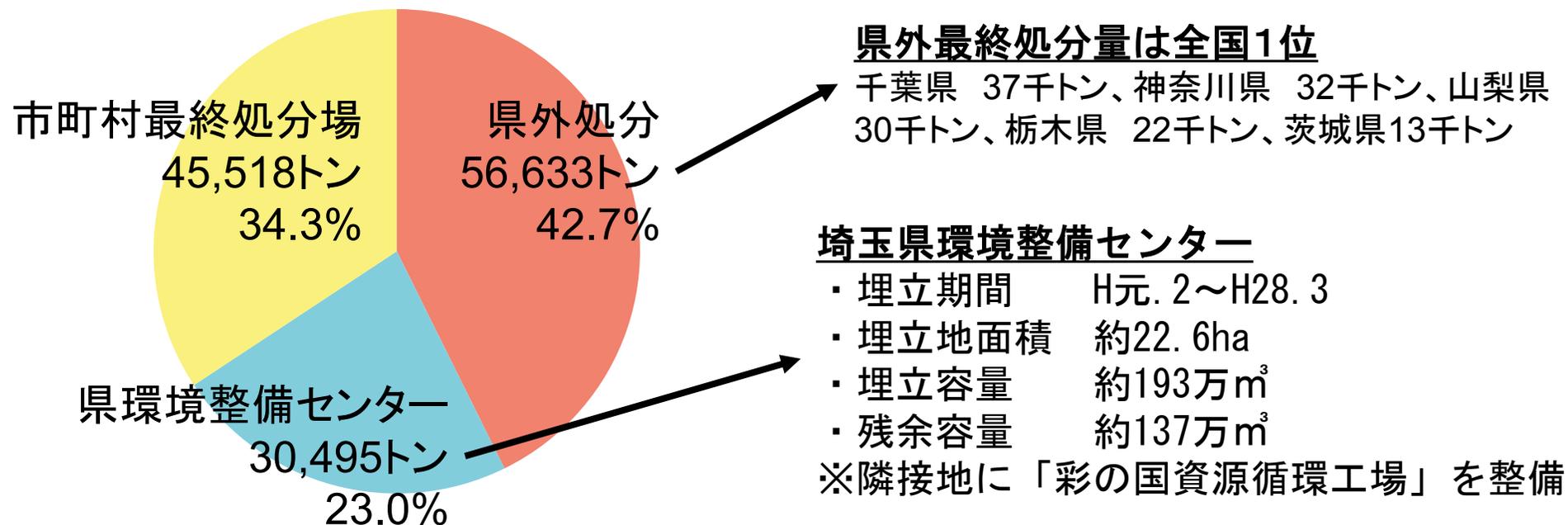
埼玉県の最終処分の現状

埼玉県の一般廃棄物(平成23年度)

1人1日当たりの排出量 928g(全国平均 975g、全国12位)

一方で…

市町村の最終処分場の残余容量は逼迫＝約98万 m^3 (H24.3.31)



県内市町村の取組

1 『台所資源（生ごみ）たい肥化事業』久喜宮代衛生組合

- H15.3に生ごみ堆肥化施設竣工。一般家庭から排出される生ごみだけを活用し、堆肥化する試みに着手。市内の一部にモデル地区（約1万世帯）を設定、協力呼び掛け。
- H21.4からはHDMシステムを導入。1日約4トンの生ごみを処理している。
- 24年度実績 台所資源処理量835トン、資源化量730トン

2 『生ごみ堆肥と花苗の交換事業』戸田市（蕨戸田衛生センター組合・蕨市）

- 各市に申し込み、生ごみ回収バケツを受け取る。30日間溜め（EMぼかしで発酵）、リサイクルフラワーセンターへ運搬すると、花の苗（8鉢）と交換してくれる。
- 持ち込まれた生ごみは、リサイクルフラワーセンター（H21.11.13竣工 生ごみ堆肥化能力320kg／日）において堆肥化。
- 戸田市ではバケツを2,100個（1個約7kg）用意。堆肥化や花苗の生産が追いつかない状態。地域通貨への交換も検討中。蕨市はバケツ50個のみ。

3 生ごみ処理機・コンポスト・EM容器の購入補助制度

- 県内45市町・1一部事務組合が実施
- 23年度の実績 合計1,769台分

埼玉県の取組① 講座での啓発

【平成25年度】

夏休み親子で自由研究

「3Rでごみを減らそう」

草加市、飯能市、桶川市、川越市、
伊奈町で計5日(6回)開催

137人が受講

出前講座「循環型社会の構築」

自治会や企業などからの依頼に応
じて随時開催

計4回開催、164人が受講

【平成24年度】

「親子ECOクッキング講座」

さいたま市が主催した環境にやさし
いクッキング講座に講師として参加
県の取組事例などを紹介



今年の3R講座の開催風景です。
企業の食品ロスの取組事例や、
家庭でできる食品ロス削減のため
の工夫についても説明しました。

県の取組② 彩の国エコぐるめ事業

エコぐるめ協力店に登録しませんか？

登録は申請書をファックスで送付するだけ。
お店を埼玉県のホームページで紹介します。

彩の国エコぐるめ協力店とは

食品廃棄物の削減を図るため、次の①～⑤のいずれかの取組を実施する飲食店です。

- ①小盛り、ハーフサイズの設定など、利用者の要望に沿った量での提供
- ②利用者の食べきりや食べ残し削減への協力に対する特典の付与
- ③宴会等における食べきりの呼びかけなどの実施
- ④ポスター等の掲示による、食べ残し削減に向けた啓発活動、情報提供の実施
- ⑤食料品の量り売り、ばら売りなど、利用者の要望に沿った量での販売の実施



このステッカーが目印です。

登録店舗数 9店舗
(H25.9.30現在)

九都県市の取組①

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、
横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

埼玉県の当初提案 = 登録事業の広域展開

《各都県市や事業者の意見》

登録事業

→登録後、何をするのか？食品ロスは減らせるか？

食べきりの呼び掛け、小盛りメニューの設定

→客のニーズに合わない。店から呼び掛けづらい。

客が楽しく前向きに「食べきる」ことができる内容に

食べきりげんまんプロジェクトの概要

- ファミレス、居酒屋チェーン店と連携した普及啓発キャンペーン(5社855店舗)
- 九都県市リサイクルホームページによる普及啓発(<http://tabekirigenman.jp>)
- FMラジオCM、Web広告(Yahoo!JAPAN)
- YouTubeに食べきりげんまんの動画投稿



食べきりげんまん
ぜんぶたべたら
ごみもでないぞ
べーロリッ
食べきったー!

年間約800万トンもの食べ残しをゼロにする約束

食べきりげんまん プロジェクト

食べきりげんまん
スマイルフォトコンテスト
期間：2013年10月1日(火)～10月31日(木)

食べきりげんまん 完全食に乾杯!キャンペーン
期間：2013年10月1日(火)～10月31日(木)

九都県市廃棄物問題検討委員会 (埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市) www.tabekirigenman.jp リサイクルステア

九都県市の取組②

| 名称 | スマイルフォトコンテスト |
|----|--|
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 外食の機会を捉えて、来店者に食品ロス発生の現状を広く知ってもらう。 ➤ 九都県市リサイクルスクエアホームページに応募作品を掲載し、閲覧者の増加を図る。 ➤ 外食店舗における食べ残しを削減する。 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 500円以上の商品を注文して食べきり、空になったお皿と一緒に撮影した笑顔の写真を応募してもらう。 ➤ 各店舗にポスターを掲示。卓上に三角POPなどを設置し、告知。 ➤ 優秀50作品に、家電製品(ミキサー)やお食事券を贈呈 |
| 規模 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ (株)アレフ、サトレストランシステムズ(株)、セブン&アイ・フードシステムズ(株)、(株)華屋与兵衛、(株)ワタミフードサービスと連携 ➤ 九都県市内 855店舗 ➤ 応募作品数 350点(H25.9.17現在) |

九都県市の取組③

食べきりげんまん
完食に乾杯！キャンペーン

期間：2013年10月1日(火)～10月31日(木)

対象店舗でお食事をし、**完食**すると、素敵な賞品が当たる抽選券がもらえます！

抽選方法
完食されたお客様には、素敵な賞品が当たる抽選券をお渡しします。抽選券の当選番号はホームページにて発表！見事当選された方は、抽選券に記載の宛先に、抽選券を郵送してください。引き換えに、賞品を発送させていただきます。

賞品
ネスカフェゴールドブレンド パリスタ 10名様
なお、抽選にはいずれも新刊券としてお使いいただけます。詳しくは抽選券をご覧ください。

当選発表
2013年11月12日(火)
九都県市リサイクルストアのホームページにて発表します。

対象店舗
ご当地産 味の屋
※九都県市内の店舗限定

食べきりげんまん
スマイルフォトコンテスト

期間：2013年10月1日(火)～10月31日(木)

日本では「食品ロス」は毎年6000万トンに達しているといわれています。年間100万～400万トンも発生しています。食品ロスを少しでも減らせるように、食べきりげんまんグループのみんなと一緒に撮影した、みなさんの笑顔の写真が影響する「食べきりげんまんスマイルフォトコンテスト」を開催します！みなさんのとびきりのスマイルフォトをお待ちしています。

対象店舗 九都県市リサイクルストア、味の屋

抽選方法
対象店舗（7都県市）にお来店し、食べきりげんまんグループのみんなと一緒に写真を撮影していただきます。写真をお店に提出していただきます。写真をお店に提出していただきます。写真をお店に提出していただきます。写真をお店に提出していただきます。

賞品
九都県市、ディファナル エンジェルズ、エコーハウス、10名様
ディファナル エンジェルズ、エコーハウス、10名様
10名様
10名様
10名様
10名様
10名様

詳しくはWEBで www.tabekirigenman.jp リサイクルストア

| | |
|----|--|
| 名称 | 完食に乾杯！キャンペーン |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 食品ロス削減の普及啓発 ➢ 食べきり呼び掛け・インセンティブ付与による食品ロス削減効果の測定 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 来店者への食べきりの呼び掛けと、食べきり時にインセンティブを付与することにより食品ロスの削減効果を測定する。 ➢ 食品廃棄物量を測定し、前年度、未実施店舗などと比較する。 ➢ 各店舗にポスターを掲示。リーフレットなどにより来店者に告知。 ➢ 食べきったグループには、家電製品（ネスカフェバリスタ）が当たる抽選券を贈呈。 ➢ 抽選券は、外れても対象店舗において割引券として利用可能。 |
| 規模 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ (株)ワタミフードサービスと連携 ➢ 九都県市内 343店舗 ➢ 抽選券配布予定枚数 約50万枚 |

今後の展開

1 関係部署の連携

- 多くの部課にまたがっており、国と同様に横串での連携・取組が必須。
- フードバンクは(社)埼玉県社会福祉協議会が一応の窓口になっており、県庁には担当課がない。

2 市町村との連携

- 一般廃棄物の処理主体は市町村。どうやって市町村の取組を促すかが課題。
- 新たに生ごみを分別収集するに当たっては、住民の理解が必要。

3 バイオマスエネルギーとしての活用

- 既存事業者や市町村との間で、県が果たせる役割は何か。

埼玉県庁における食品リサイクル関係担当部課

| 担当業務 | 担当部課 |
|------------|---------------|
| 食品廃棄物の3R | 環境部 資源循環推進課 |
| 食品リサイクル | 農林部 農業ビジネス支援課 |
| 賞味期限・消費期限 | 県民生活部 消費生活課 |
| 食の安全 | 保健衛生部 食品安全課 |
| 学校給食 | 教育局 保健体育課 |
| 環境教育(義務教育) | 教育局 義務教育指導課 |
| 環境教育(一般) | 環境部 温暖化対策課 |